

松島火力発電所の今後について
～GENESIS松島計画の推進とCO₂削減目標に向けた既存設備の更新～

電源開発株式会社（以下「Jパワー」、本社：東京都中央区、代表取締役社長 社長執行役員：菅野 等）は、GENESIS松島計画（CO₂フリー水素発電を目指した設備更新計画）を引き続き推進するため、2024年度末をもって松島火力発電所の既存2基を休廃止することを決定しました。

当社は「J-POWER “BLUE MISSION 2050”」において、2050年のカーボンニュートラルと水素社会の実現に向け、中間目標として2025年度のCO₂排出量を3,960万トン以下（2013年度実績比920万トン・19%削減）とすることを目指しています。そのため、再生可能エネルギーの重点的な開発と原子力の着実な推進に加えて、CO₂フリー水素発電を目指したGENESIS松島計画を推進してきました。

今般、カーボンニュートラル実現に向けた取組みの一環として、2024年度末をもって松島火力発電所の稼働を停止することとし、これに伴い、1号機は廃止、2号機はGENESIS松島計画に向けて休止することとしました。1号機の一部設備や敷地は、引き続きGENESIS計画や、将来のカーボンニュートラル施策に向けて活用していく予定です。なお、休廃止に伴う2024年3月期の業績への影響は、軽微である見通しです。

また、GENESIS松島計画は、下表の通り2026年着工、2028年度運転開始を目指します。当社は、水素社会への構造転換と、安定したエネルギー供給の両立を目指し、引き続き、GENESIS松島計画の検討や環境影響評価の手続きを推進し、計画実現に向けて積極的に取り組んでいきます。将来的にはバイオマス・アンモニア燃料の導入、CCUSの実現なども含めて、国内におけるカーボンフリー火力の先進地を目指し、今後も松島の地で事業を継続していきます。

(休廃止設備の概要)

発電所名	松島火力発電所	
所在地	長崎県西海市大瀬戸町	
号機	1号機	2号機
出力	50万kW	50万kW
燃料	石炭	石炭
運転開始	1981年1月	1981年6月

(GENESIS 松島計画の概要)

所在地	長崎県西海市大瀬戸町
発電出力	約50万kW
工事開始	2026年（見込み）
運転開始	2028年度（見込み）

以上